

平成 18 年 10 月 27 日

各 位

西日本シティ銀行

システム開発・運用業務のアウトソーシングについて

株式会社西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、平成 18 年 10 月 27 日、株式会社 N T T データ（社長 浜口友一）との間で、システム開発・運用業務に係る「アウトソーシング基本契約書」を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1 . 背景

金融機関を取り巻く環境が大きく変化する中、I T の戦略的活用により、良質な金融サービスを迅速に提供できる体制の構築が、銀行にとってますます重要な経営課題となっております。

当行におきましても、お客さまのニーズに合った商品・サービスをより効率的かつ迅速に提供できるシステム運用体制の実現に向け、検討を進めてまいりました結果、今般、金融業界における I T アウトソーシングについて豊富なノウハウと高度なスキルを有する N T T データをパートナーとして、システム開発・運用業務のアウトソーシングを行うことといたしました。

2 . 基本契約の概要

(1) アウトソーシングの受け皿として、当行の連結子会社である N C B コンピューターサービス株式会社の発行済み株式の 70% を N T T データが取得し、社名を「株式会社 N T T データ N C B (仮称)」(以下「新会社」) と変更します。

(2) 当行は、この新会社にシステム開発・運用に関する業務をアウトソーシングします。

(3) 平成 19 年 1 月からアウトソーシングを開始し、当面契約期間を 8 年とする予定です。

以後、新会社は N T T データの子会社となり、かつ、当行が新会社の株式の 25% を追加取得して出資比率を 30% まで高めることにより、当行の「持分法適用会社」となります。

本アウトソーシングは、当行の連結子会社で、システム関連の総合サービス企業である N C B コンピューターサービスを受け皿とし、N T T データと当行がその株式を保有し、人材を投入する形態をとります。

このスキームにより、三者が各々有する銀行システム開発に関するノウハウの結集が実現し、同時に I T 戦略面での当行のイニシアチブも保持できます。

3. 期待される効果

- (1) NTTデータの持つ高度なスキル・ノウハウを活かし、ITの戦略的活用を積極的に進めることによる競争力の向上
- (2) システム信頼性のさらなる向上
- (3) システム開発・運用の効率化によるコスト削減
- (4) お客様向けITソリューションの高度化
法人・事業主のお客様の事務合理化等のITニーズに対しても、新会社が、より高度なソリューションを提供できる体制となります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先 システム部 立石・石水 TEL092-476-2360
--

新会社の概要

商号	株式会社NTTデータNCB
本店所在地	福岡市博多区博多駅前 1-17-21 NTTデータ博多駅前ビル内
株式譲渡予定時期	平成 18 年 12 月
資本金	50 百万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西日本シティ銀行のシステム開発・運用のアウトソーシング受託 ・ コンピューター総合サービス業
役職員数	280 名
株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)NTTデータ 70% ・ (株)西日本シティ銀行 30%

NCBコンピューターサービス(株)の概要

商号	NCBコンピューターサービス株式会社
本店所在地	福岡市早良区百道浜一丁目 7-6
設立年月日	昭和 60 年 1 月 26 日
資本金	50 百万円
事業内容	コンピューター総合サービス業
役職員数	170 名
株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)西日本シティ銀行 5.00% ・ 当行関連会社他 95.00%
直近の業績	(平成 18 年 3 月期)
売上高	2,416 百万円
経常利益	222 百万円
当期純利益	132 百万円